中学校歴史 単元別学習 90 問

第 18 単元 世界恐慌と第二次世界大戦

範囲：世界恐慌と独裁／軍部の台頭／戦争の拡大／戦時生活と終戦
用語と順序を確かめ、戦争の広がりと、人々の命・生活への影響を説明しよう。

STEP 1 一問一答 50 問

世界恐慌と各国の対応

問 1　1929 年にアメリカで始まり、生産や貿易の縮小、失業の増加を世界に広げた不況は何か。

問 2　1929 年、株価の大暴落が世界恐慌のきっかけとなった、アメリカの都市はどこか。

問 3　1933 年以降、米政府が公共事業や金融改革などで景気回復を目指した政策は何か。

問 4　ニューディール政策を進めた、1933 年に就任したアメリカ大統領は誰か。

問 5　英仏などが植民地などとの結び付きを強め、外部との貿易を制限した経済政策は何か。

問 6　ソ連が 1928 年から、国家の計画に基づき重工業などの発展を進めた政策は何か。

問 7　民主主義や個人の権利を否定し、国家・民族を優先して独裁を行う政治の呼び名は何か。

問 8　イタリアでファシスト党を率い、1922 年に首相となった独裁者は誰か。

問 9　ドイツでナチ党を率い、1933 年に首相となって独裁体制を築いた人物は誰か。

問 10　ヒトラーが率い、ユダヤ人への差別・迫害や対外侵略を進めたドイツの政党は何か。

日本の不況と軍部の台頭

問 11　世界恐慌の影響や 1930 年の金解禁などを背景に、日本で深刻化した不況は何か。

問 12　1931 年、柳条湖の鉄道爆破事件をきっかけに、日本軍が満州で始めた軍事行動は何か。

問 13　満州事変を引き起こし、満州での軍事行動を拡大した、日本陸軍の部隊は何か。

問 14　1932 年、日本軍の主導で中国東北部につくられ、日本が実質的に支配した国家は何か。

STEP 1 一問一答 50 問 続き

問 15　満州事変を調べるため、国際連盟が派遣した調査団は何か。

問 16　満州国を認めない決議などに反発し、日本が 1933 年に脱退を通告した国際機構は何か。

問 17　1932 年 5 月、海軍の青年将校らが犬養毅首相を殺害した事件は何か。

問 18　五・一五事件で殺害され、戦前の政党内閣の時代が終わる契機となった首相は誰か。

問 19　1936 年 2 月、陸軍の青年将校らが政府の要人を襲い、東京の一部を占拠した事件は何か。

日中戦争と戦時体制

問 20　1937 年 7 月、北京郊外で日中両軍が衝突し、日中戦争のきっかけとなった事件は何か。

問 21　1937 年に本格化し、中国側の抵抗などによって長期化した、日本と中国の戦争は何か。

問 22　1937 年、日本軍による南京占領の際などに、民間人や捕虜が多数殺害された事件は何か。

問 23　1938 年、政府が労働力や物資などを広く統制し、戦争に動員できるようにした法律は何か。

問 24　国家総動員法の成立時や大政翼賛会の発足時に、内閣を率いていた首相は誰か。

問 25　1940 年、政党が解散する中でつくられ、国民を戦争に協力させる役割を担った組織は何か。

問 26　近隣の家庭をまとめ、配給・防空・資源回収などを担わせた、戦時下の地域組織は何か。

問 27　物資不足の中、国が食料や衣料品などの量を割り当てて人々に分配した制度は何か。

問 28　戦時中、学生や生徒が工場などでの労働に動員されたことを何というか。

問 29　空襲を避けるため、都市の小学生たちが地方などへ移って生活したことを何というか。

第二次世界大戦の拡大

問 30　1939 年にヨーロッパで始まり、アジア・太平洋などへ広がって 1945 年に終結した大戦は何か。

問 31　1939 年 9 月、ドイツが侵攻し、英仏がドイツに宣戦するきっかけとなった国はどこか。

問 32　1939 年 8 月、ドイツとソ連が互いに攻撃しないことを約束して結んだ条約は何か。

問 33　1940 年、日本・ドイツ・イタリアが結んだ軍事同盟は何か。

問 34　1941 年 4 月、日本とソ連が互いの中立などを約束して結んだ条約は何か。

問 35　1941 年 12 月、日本がアメリカ・イギリスなどとの間で始めた戦争は何か。

問 36　1941 年 12 月、日本海軍が攻撃した、ハワイにあるアメリカ海軍の基地はどこか。

問 37　1942 年 6 月、日本が主力空母 4 隻を失い、太平洋の戦局の転換点となった海戦は何か。

戦争の広がりと人々への被害

問 38　第二次世界大戦で、米英ソ中など、日本・ドイツ・イタリアと戦った側の呼び名は何か。

問 39　第二次世界大戦で、日本・ドイツ・イタリアなどの側を表す呼び名は何か。

問 40　ナチ・ドイツがユダヤ人を主な標的として行った、組織的な大量虐殺を何というか。

問 41　1941 年に首相となり、アメリカ・イギリスとの開戦時に内閣を率いた軍人・政治家は誰か。

問 42　日本が「アジアの解放」を掲げ、日本主導の地域秩序を目指した構想は何か。

問 43　1945 年、日本国内で激しい地上戦が行われ、多くの住民も犠牲となった沖縄での戦いは何か。

問 44　1945 年 3 月 10 日、東京の下町などに大きな被害をもたらした大規模な空襲は何か。

敗戦と戦争の終結

問 45　1945 年 8 月、アメリカが広島と長崎へ投下した核兵器は何か。

問 46　1945 年 8 月 6 日、原子爆弾を投下された都市はどこか。

問 47　1945 年 8 月 9 日、原子爆弾を投下された都市はどこか。

問 48　1945 年 7 月、アメリカ・イギリス・中国が、日本に降伏などを求めて出した宣言は何か。

問 49　1945 年 8 月、日ソ中立条約を破って対日参戦し、満州などに侵攻した国はどこか。

問 50　1945 年 9 月 2 日、日本が東京湾の戦艦ミズーリ号上で調印し、降伏を正式に示した文書は何か。

STEP 2 歴史の並び替え 20 問

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 1　独裁の登場と経済の変化

ア ムッソリーニが首相となる　　イ ソ連が五か年計画を始める
ウ ヒトラーが首相となる　　エ 世界恐慌が始まる

問 2　世界恐慌と日本の政治

ア 満州事変が始まる　　イ 五・一五事件が起こる
ウ 世界恐慌が始まる　　エ 二・二六事件が起こる

問 3　恐慌への対応と戦争の拡大

ア ドイツがポーランドに侵攻　　イ ニューディール政策が始まる
ウ 日独伊三国同盟が結ばれる　　エ 世界恐慌が始まる

問 4　満州事変から日中戦争へ

ア 満州国がつくられる　　イ 日本が連盟脱退を通告する
ウ 盧溝橋事件が起こる　　エ 満州事変が始まる

問 5　政党政治の後退と戦時体制

ア 大政翼賛会が発足する　　イ 二・二六事件が起こる
ウ 国家総動員法が公布される　　エ 五・一五事件が起こる

問 6　ドイツとアジアの戦争

ア ヒトラーが首相となる　　イ 盧溝橋事件が起こる
ウ ドイツがポーランドに侵攻　　エ ドイツがソ連に侵攻する

問 7　軍部の台頭と動員の拡大

ア 二・二六事件が起こる　　イ 国家総動員法が公布される
ウ 盧溝橋事件が起こる　　エ 日独伊三国同盟が結ばれる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 8　国際協調から戦争へ

ア 国家総動員法が公布される　　イ 太平洋戦争が始まる
ウ 大政翼賛会が発足する　　エ 日本が連盟脱退を通告する

問 9　大戦と日本の同盟・条約

ア 日ソ中立条約が結ばれる　　イ ドイツがポーランドに侵攻
ウ 日独伊三国同盟が結ばれる　　エ ミッドウェー海戦が起こる

問 10　日中戦争から太平洋の戦局へ

ア 太平洋戦争が始まる　　イ 国家総動員法が公布される
ウ 盧溝橋事件が起こる　　エ ミッドウェー海戦が起こる

問 11　世界の不況と二つの戦争

ア 太平洋戦争が始まる　　イ 満州事変が始まる
ウ 世界恐慌が始まる　　エ ドイツがポーランドに侵攻

問 12　景気対策と戦時の動き

ア ミッドウェー海戦が起こる　　イ 日独伊三国同盟が結ばれる
ウ ニューディール政策が始まる　　エ 国家総動員法が公布される

問 13　ソ連とドイツの歩み

ア ドイツがソ連に侵攻する　　イ ソ連が五か年計画を始める
ウ ヒトラーが首相となる　　エ 世界恐慌が始まる

問 14　アジアの戦争と欧州の終結

ア ドイツが降伏する　　イ 大政翼賛会が発足する
ウ 盧溝橋事件が起こる　　エ 満州事変が始まる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 15　ヨーロッパと太平洋の戦局

ア 連合軍がノルマンディー上陸　　イ ドイツがポーランドに侵攻
ウ ドイツが降伏する　　エ ミッドウェー海戦が起こる

問 16　戦争の長期化と降伏要求

ア 盧溝橋事件が起こる　　イ ミッドウェー海戦が起こる
ウ ポツダム宣言が出される　　エ 大政翼賛会が発足する

問 17　独ソ関係と戦争の拡大

ア 太平洋戦争が始まる　　イ 独ソ不可侵条約が結ばれる
ウ ドイツがポーランドに侵攻　　エ ドイツがソ連に侵攻する

問 18　日本・ソ連と戦局の変化

ア 日ソ中立条約が結ばれる　　イ 日独伊三国同盟が結ばれる
ウ ソ連が対日参戦する　　エ ミッドウェー海戦が起こる

問 19　1945 年の戦争と降伏

ア 東京大空襲が起こる　　イ 日本が降伏文書に調印する
ウ 沖縄本島に米軍が上陸する　　エ 広島に原爆が投下される

問 20　1945 年 8 月の終戦への経過

ア 長崎に原爆が投下される　　イ 広島に原爆が投下される
ウ 日本がポツダム宣言を受諾　　エ 終戦が放送で国民に伝わる

STEP 3 記述問題 20 問

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 1　アメリカの経済の混乱は、なぜ他の国々にも広がったのか。貿易や資金のつながりと、失業に触れて説明しなさい。

問 2　ニューディール政策は、政府がどのように経済に関わり、景気の回復を目指したか。公共事業と金融改革に触れて説明しなさい。

問 3　ブロック経済は、自国の産業を守る一方で、国際関係にどのような問題を生んだか。貿易の制限から説明しなさい。

問 4　不況や社会不安は、ファシズムの支持拡大とどのように関わったか。また、独裁は民主主義や人権に何をもたらしたか。

問 5　昭和恐慌は、日本の都市や農村の生活にどのような影響を及ぼしたか。資料を使って説明しなさい。
資料　生糸などの輸出が減り、農産物の価格も下落した。企業の倒産や失業が増え、農家の収入も減った。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 6　満州事変では、関東軍は何をきっかけに軍事行動を始め、政府との関係にどのような問題が表れたか。資料から説明しなさい。

資料　関東軍の将校らは柳条湖の鉄道爆破を計画し、中国軍の行為として攻撃を始めた。政府は不拡大方針を出したが、軍の行動は拡大した。

問 7　満州事変後、日本と国際連盟の関係はどのように変化したか。満州国への評価と、日本の対応から説明しなさい。

問 8　五・一五事件と二・二六事件は、誰が起こしたどのような事件か。政党政治や軍部の影響との関係も説明しなさい。

問 9　日中戦争で日本軍が占領地を広げても、戦争が短期間で終わらなかったのはなぜか。資料を使って説明しなさい。

資料　中国では国民党と共産党が協力し、日本への抵抗を進めた。中国側は拠点を移し、海外からの援助も受けて抵抗を続けた。

問 10　国家総動員法は、政府にどのような権限を与え、人々の仕事や生活をどう変えたか。戦争の長期化と関連付けて説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 11　隣組は、住民の助け合いだけを目的とした組織だったか。資料から、生活を支える面と統制の面を分けて説明しなさい。

資料　隣組では配給、防空、資源回収などを行った。一方、行政の指示を伝え、互いの行動や考えを監視する働きもあった。

問 12　学徒勤労動員と学童疎開は、何のために行われ、子どもや若者の生活をどう変えたか。両者を区別して説明しなさい。

問 13　第二次世界大戦と太平洋戦争は、いつ、どこで始まった戦争か。1937 年からの日中戦争とのつながりも説明しなさい。

問 14　日本の中国・東南アジアへの進出と、アメリカなどとの対立は、どう関係したか。資料を使い、開戦への経過を説明しなさい。

資料　日本の進出に対し、米英などは経済的な圧力を強めた。アメリカは対日石油輸出を禁止した。日本は石油の多くを輸入に頼っていた。

問 15　「大東亜共栄圏」の掲げた考えと、日本軍の占領下の実態には、どのような隔たりがあったか。資料から説明しなさい。

資料　日本はアジアを欧米の支配から解放すると掲げた。一方、占領地では戦争資源の獲得を優先し、物資の徴発や労働への動員などを行い、抵抗も起きた。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 16　ホロコーストは、なぜ戦闘による被害とは区別して考える必要があるか。人々への差別と、国家による組織的な殺害から説明しなさい。

問 17　発展　「攻撃しないという条約があれば、その国同士はその後も戦争をしない」といえるか。資料の二つの例を区別して説明しなさい。

資料　独ソ不可侵条約は 1939 年に結ばれたが、ドイツは 1941 年にソ連へ侵攻した。日ソ中立条約は 1941 年に結ばれたが、ソ連は 1945 年 8 月に対日参戦した。

問 18　発展　空襲・沖縄戦・原爆は、戦闘に参加していない人々の生活をどう奪ったか。具体例を二つ以上使い、被害の広がりを説明しなさい。

問 19　発展　日本の降伏までの経過を、原爆投下・ソ連参戦と、8 月 14 日・15 日・9 月 2 日の違いから説明しなさい。資料を使うこと。

資料　1945 年 8 月に原爆が投下され、ソ連も参戦した。日本は 14 日にポツダム宣言受諾を決定・通告し、15 日に放送で伝え、9 月 2 日に降伏文書へ調印した。

問 20　発展　第二次世界大戦が「人類全体への惨禍」だったとされるのはなぜか。日本と、アジア・ヨーロッパの事例から二つ以上挙げて説明しなさい。

解答 STEP 1 一問一答

表記が異なっていても、同じ内容を正しく示していれば正解とします。

番号	解答	番号	解答
1	世界恐慌	26	隣組
2	ニューヨーク	27	配給制
3	ニューディール政策	28	学徒勤労動員
4	ルーズベルト	29	学童疎開
5	ブロック経済	30	第二次世界大戦
6	五か年計画	31	ポーランド
7	ファシズム	32	独ソ不可侵条約
8	ムッソリーニ	33	日独伊三国同盟
9	ヒトラー	34	日ソ中立条約
10	ナチ党	35	太平洋戦争
11	昭和恐慌	36	真珠湾
12	満州事変	37	ミッドウェー海戦
13	関東軍	38	連合国
14	満州国	39	枢軸国
15	リットン調査団	40	ホロコースト
16	国際連盟	41	東条英機
17	五・一五事件	42	大東亜共栄圏
18	犬養毅	43	沖縄戦
19	二・二六事件	44	東京大空襲
20	盧溝橋事件	45	原子爆弾
21	日中戦争	46	広島
22	南京事件	47	長崎
23	国家総動員法	48	ポツダム宣言
24	近衛文麿	49	ソビエト連邦
25	大政翼賛会	50	降伏文書

認められる表記の例

問 3：ニューディールも可。問 4：フランクリン・ルーズベルトも可。
問 10：ナチスも可。問 12・14：「満州」を「満洲」とする表記も可。
問 17・19：中黒なしも可。問 22：南京大虐殺も可。問 28：勤労動員、問 49：ソ連も可。

解答 STEP 2 並び替え

出来事の年代と、その前後のつながりも確認しましょう。

番号	答え	解説
1	ア→イ→エ→ウ	イタリアでムッソリーニが首相に就任（1922 年） → ソ連の第一次五か年計画開始（1928 年） → アメリカから世界恐慌が広がる（1929 年） → ドイツでヒトラーが首相に就任（1933 年）
2	ウ→ア→イ→エ	アメリカから世界恐慌が広がる（1929 年） → 柳条湖事件を機に満州事変が始まる（1931 年） → 五・一五事件で犬養毅首相が殺害される（1932 年） → 陸軍青年将校らによる二・二六事件（1936 年）
3	エ→イ→ア→ウ	アメリカから世界恐慌が広がる（1929 年） → ルーズベルトのニューディール政策開始（1933 年） → ドイツのポーランド侵攻で欧州の大戦が始まる（1939 年 9 月 1 日） → 日本・ドイツ・イタリアの三国同盟締結（1940 年）
4	エ→ア→イ→ウ	柳条湖事件を機に満州事変が始まる（1931 年） → 日本軍の主導で満州国が成立（1932 年） → 日本が国際連盟からの脱退を通告（1933 年） → 盧溝橋事件を機に日中戦争が本格化（1937 年）
5	エ→イ→ウ→ア	五・一五事件で犬養毅首相が殺害される（1932 年） → 陸軍青年将校らによる二・二六事件（1936 年） → 労働力・物資などを統制する国家総動員法公布（1938 年） → 国民を戦争協力へ組織する大政翼賛会の発足（1940 年）
6	ア→イ→ウ→エ	ドイツでヒトラーが首相に就任（1933 年） → 盧溝橋事件を機に日中戦争が本格化（1937 年） → ドイツのポーランド侵攻で欧州の大戦が始まる（1939 年 9 月 1 日） → ドイツがソ連に侵攻し独ソ戦が始まる（1941 年 6 月 22 日）
7	ア→ウ→イ→エ	陸軍青年将校らによる二・二六事件（1936 年） → 盧溝橋事件を機に日中戦争が本格化（1937 年） → 労働力・物資などを統制する国家総動員法公布（1938 年） → 日本・ドイツ・イタリアの三国同盟締結（1940 年）
8	エ→ア→ウ→イ	日本が国際連盟からの脱退を通告（1933 年） → 労働力・物資などを統制する国家総動員法公布（1938 年） → 国民を戦争協力へ組織する大政翼賛会の発足（1940 年） → 日本が米英と開戦し太平洋戦争が始まる（1941 年 12 月 8 日）
9	イ→ウ→ア→エ	ドイツのポーランド侵攻で欧州の大戦が始まる（1939 年 9 月 1 日） → 日本・ドイツ・イタリアの三国同盟締結（1940 年） → 日本とソ連が中立条約を締結（1941 年） → ミッドウェー海戦で日本が主力空母 4 隻を失う（1942 年）
10	ウ→イ→ア→エ	盧溝橋事件を機に日中戦争が本格化（1937 年） → 労働力・物資などを統制する国家総動員法公布（1938 年） → 日本が米英と開戦し太平洋戦争が始まる（1941 年 12 月 8 日） → ミッドウェー海戦で日本が主力空母 4 隻を失う（1942 年）

解答 STEP 2 並び替え 続き

番号	答え	解説
11	ウ→イ→エ→ア	アメリカから世界恐慌が広がる（1929 年） → 柳条湖事件を機に満州事変が始まる（1931 年） → ドイツのポーランド侵攻で欧州の大戦が始まる（1939 年 9 月 1 日） → 日本が米英と開戦し太平洋戦争が始まる（1941 年 12 月 8 日）
12	ウ→エ→イ→ア	ルーズベルトのニューディール政策開始（1933 年） → 労働力・物資などを統制する国家総動員法公布（1938 年） → 日本・ドイツ・イタリアの三国同盟締結（1940 年） → ミッドウェー海戦で日本が主力空母 4 隻を失う（1942 年）
13	イ→エ→ウ→ア	ソ連の第一次五か年計画開始（1928 年） → アメリカから世界恐慌が広がる（1929 年） → ドイツでヒトラーが首相に就任（1933 年） → ドイツがソ連に侵攻し独ソ戦が始まる（1941 年 6 月 22 日）
14	エ→ウ→イ→ア	柳条湖事件を機に満州事変が始まる（1931 年） → 盧溝橋事件を機に日中戦争が本格化（1937 年） → 国民を戦争協力へ組織する大政翼賛会の発足（1940 年） → ドイツの降伏でヨーロッパの大戦が終わる（1945 年 5 月）
15	イ→エ→ア→ウ	ドイツのポーランド侵攻で欧州の大戦が始まる（1939 年 9 月 1 日） → ミッドウェー海戦で日本が主力空母 4 隻を失う（1942 年） → 連合軍がフランスのノルマンディーに上陸（1944 年） → ドイツの降伏でヨーロッパの大戦が終わる（1945 年 5 月）
16	ア→エ→イ→ウ	盧溝橋事件を機に日中戦争が本格化（1937 年） → 国民を戦争協力へ組織する大政翼賛会の発足（1940 年） → ミッドウェー海戦で日本が主力空母 4 隻を失う（1942 年） → 米英中が日本に降伏などを求めるポツダム宣言（1945 年 7 月）
17	イ→ウ→エ→ア	ドイツとソ連が不可侵条約を締結（1939 年 8 月 23 日） → ドイツのポーランド侵攻で欧州の大戦が始まる（1939 年 9 月 1 日） → ドイツがソ連に侵攻し独ソ戦が始まる（1941 年 6 月 22 日） → 日本が米英と開戦し太平洋戦争が始まる（1941 年 12 月 8 日）
18	イ→ア→エ→ウ	日本・ドイツ・イタリアの三国同盟締結（1940 年） → 日本とソ連が中立条約を締結（1941 年） → ミッドウェー海戦で日本が主力空母 4 隻を失う（1942 年） → ソ連が日ソ中立条約を破り対日参戦（1945 年 8 月 9 日）
19	ア→ウ→エ→イ	東京の下町などを襲った東京大空襲（1945 年 3 月 10 日） → 米軍が沖縄本島に上陸し本島の地上戦が進む（1945 年 4 月 1 日） → アメリカが広島に原子爆弾を投下（1945 年 8 月 6 日） → 日本が東京湾上で降伏文書に調印（1945 年 9 月 2 日）
20	イ→ア→ウ→エ	アメリカが広島に原子爆弾を投下（1945 年 8 月 6 日） → アメリカが長崎に原子爆弾を投下（1945 年 8 月 9 日） → 日本がポツダム宣言の受諾を決定・通告（1945 年 8 月 14 日） → 終戦の詔書を放送で国民に伝える（1945 年 8 月 15 日）

解答 STEP 3 記述問題

模範解答は一例です。同じ意味を正しく説明できていれば正解とします。
「採点のポイント」を満たすか確認し、足りない言葉を自分の解答に加えよう。

問題	模範解答	採点のポイント
問 1 世界恐慌の波及	各国が貿易や融資などで結び付いていたため、アメリカの輸入や海外への投資・融資が減ると、他国でも輸出や生産が落ち込んだ。企業の経営が悪化して失業者が増え、消費も減ることで、不況がさらに広がった。	貿易・資金の国際的なつながりと、生産減少・失業・消費減少の連鎖を示す。
問 2 ニューディール	政府が公共事業などで仕事をつくり、人々の収入や消費を支えようとした。また銀行などの金融制度を改革して信用を回復し、農業や産業への対策も行った。政府が経済に積極的に関わり、救済と復興を進めた。	公共事業による雇用・収入の確保と、金融などへの政府の積極的な関与を示す。
問 3 ブロック経済	自国や植民地などの内部の取引を優先し、外部からの商品には高い関税などの壁を設けた。そのため、外部の国は商品を売りにくくなり、世界の貿易の縮小や市場・資源をめぐる対立の深刻化につながった。	域内の優先と域外への貿易制限を示し、国際的な取引の縮小・対立と結び付ける。
問 4 独裁と民主主義	失業や生活への不安が広がる中、強い指導者による立直しや国力の拡大を訴える勢力が支持を集めた。独裁体制では反対意見や政党の活動が抑えられ、特定の人々への差別や迫害、個人の権利の侵害が進んだ。	不況・不安と支持の拡大を関連付け、反対意見の抑圧や権利の侵害を示す。
問 5 昭和恐慌と生活	都市では企業の経営悪化や倒産により、失業や賃金の低下が起こった。農村では生糸や農産物の価格が下がり、農家の収入が減って生活が苦しくなった。経済の混乱は、都市と農村の双方で社会不安を広げた。	都市の失業などと、農村の価格下落・収入減少の両方を説明する。
問 6 満州事変と政府	関東軍は自ら計画した鉄道爆破を中国軍の行為とし、満州で軍事行動を始めた。政府が不拡大方針を示しても軍の進攻を止められず、軍の独断を政府が十分に抑えられないという問題が表れた。	鉄道爆破を口実にした軍事行動と、政府による軍の統制が働かなかった問題を示す。
問 7 連盟脱退と孤立	国際連盟は調査団の報告などを踏まえ、日本の行動を批判し、満州国を認めなかった。日本はこれに反発し、1933 年に連盟からの脱退を通告した。協調による解決から離れ、国際社会で孤立を深めた。	連盟が満州国を認めなかったことと、日本の脱退通告・国際的孤立を結び付ける。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 8 二つの軍事事件	1932 年の五・一五事件では海軍青年将校らが犬養毅首相を殺害し、政党内閣の時代が終わった。1936 年の二・二六事件では陸軍青年将校らが要人を襲撃し東京の一部を占拠した。政治への暴力と軍部の圧力が強まった。	1932 年の海軍・犬養首相と、1936 年の陸軍・要人襲撃を区別し、政治への影響を示す。
問 9 長期化する戦争	中国側が国民党と共産党の協力などで抵抗を強め、拠点を移しながら戦い続けたためである。海外からの援助もあり、日本が主要都市などを占領しても、中国側の抵抗を終わらせることはできず、戦争は長期化した。	中国側の協力・継続的な抵抗や援助と、占領拡大だけでは戦争が終わらない理由を示す。
問 10 国家総動員法	政府が戦争を続けるため、労働力や産業、物資、資金などを広く統制できるようにした。戦争が長期化する中で、人々の仕事や企業の生産も戦争に合わせて動員され、国民生活への統制が強まった。	人・物・資金などへの政府の統制と、産業や生活が戦争に動員されたことを示す。
問 11 隣組の二つの面	助け合いだけではなかった。配給や防空などでは生活や安全を支える役割を果たしたが、行政の指示を徹底し、住民同士で監視する働きもあった。日常の地域組織が、国民を戦争に協力させる仕組みに組み込まれた。	配給・防空などの相互扶助と、指示の徹底・監視による戦時統制の両面を示す。
問 12 学徒動員と疎開	学徒勤労動員は労働力不足を補うため、学生や生徒を工場などの仕事に動員し、学ぶ時間を減らした。学童疎開は空襲から子どもを避難させるため、都市から地方などへ移し、家族と離れて暮らす子どもも生んだ。	労働への動員と空襲からの避難の目的を区別し、学習や家族生活への影響を示す。
問 13 二つの開戦	第二次世界大戦は 1939 年、ドイツのポーランド侵攻を機にヨーロッパで始まった。日本は 1937 年から中国との戦争を続け、1941 年には米英との太平洋戦争を始めた。アジアと欧州の戦争は結び付き、世界的な大戦となった。	1939 年の欧州、1941 年の米英との戦争を区別し、日中戦争からの拡大とつなげる。
問 14 資源と開戦	日本の中国や東南アジアへの進出は、米英などとの対立を深め、石油禁輸などを招いた。日本側は資源確保を重視して交渉を続けたが、妥協に至らず、1941 年に武力で米英と戦う道を選んだ。	日本の進出、経済的圧力・資源問題、交渉の行き詰まりと開戦の選択をつなげる。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 15 共栄圏と支配	アジアの解放や共存を掲げたが、実際には日本主導の軍事的な支配が進められた。資源や食料の徴発、労働への動員などは現地の人々の生活を圧迫し、反発や抵抗を生んだ。理念と占領支配の実態には隔たりがあった。	解放・共存の主張と、日本主導の支配・資源獲得による現地への負担を対比する。
問 16 ホロコースト	ナチ・ドイツはユダヤ人を主な標的として差別・迫害し、国家の仕組みを使って組織的に大量殺害した。戦闘の巻き添えだけではなく、特定の人々を排除し、存在そのものを奪おうとした重大な人権侵害だった。	ユダヤ人などへの差別・迫害と、国家による意図的・組織的な大量殺害を示す。
問 17 条約と参戦	いえない。独ソ不可侵条約があっても、ドイツはソ連へ侵攻した。また、日ソ中立条約が有効な中で、ソ連は日本に対して参戦した。条約の締結と、その約束が実際に守られたかは区別する必要がある。	二つの条約と、ドイツの対ソ侵攻・ソ連の対日参戦を正しく対応させる。
問 18 住民の被害	空襲は住宅や街を焼き、住民の命や暮らしを奪った。沖縄戦では住民が地上戦に巻き込まれ、多くが犠牲となった。原爆は広範囲を破壊し、放射線による長期の健康被害も残した。戦争は民間人の日常や将来にも深い被害を与えた。	二つ以上の具体例を挙げ、命だけでなく生活・家族・将来への被害にも触れる。
問 19 終戦の諸段階	戦況が悪化する中、原爆投下とソ連参戦で戦争継続は一層困難になった。8 月 14 日にポツダム宣言受諾を決定・通告し、15 日に放送で国民に伝えた。9 月 2 日には降伏文書に調印した。決定・伝達・調印は異なる段階だった。	原爆・ソ連参戦と降伏の関係、および受諾・放送・調印の日付と役割を示す。
問 20 世界に及ぶ戦禍	日本では空襲・沖縄戦・原爆で多くの人々が被害を受けた。一方、日本の侵略や占領は、南京事件などを含めアジアの人々に大きな損害を与え、欧州ではホロコーストも起きた。大戦は国境を越えて命・生活・人権を奪った。	日本の人々の被害と、アジア・欧州の被害や人権侵害を具体例で示し、世界的な惨禍と説明する。